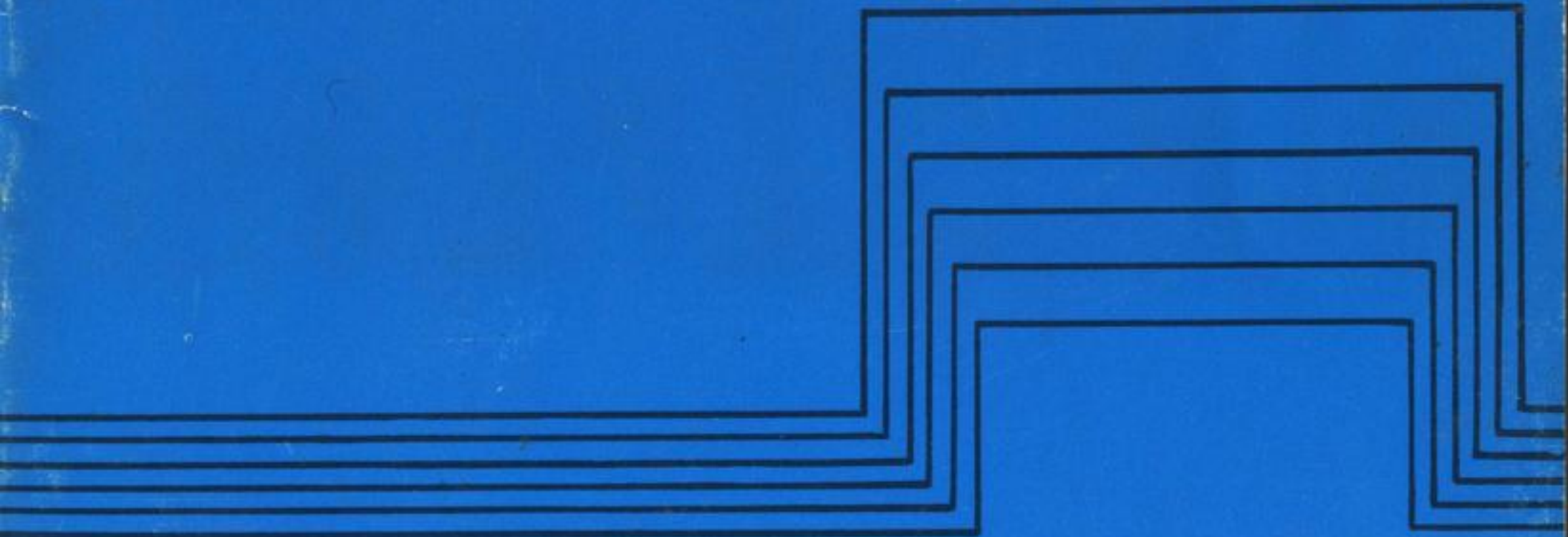


 **PETRI**

ペトリカラー
35Eの使い方



おもな性能

型式／プログラムEE式35ミリカメラ
使用フィルム／パトローネ入り35ミリフィルム
ム 20枚または36枚撮り
画面サイズ／24×36ミリ 35ミリフルサイズ
レンズ／ペトリ40ミリF2.8 3群4枚構成
コンビネーションコーティング
シャッター／ペトリプログラムシャッター
 $\frac{1}{30}$ ～ $\frac{1}{200}$ 秒
ピント合わせ／目測式
ファインダー／ブライトフレーム0.45×
視差補正標・レンズ格納警告マーク・露出
警告マーク付
EE露出計／CdS使用プログラムEE
レンズ部に受光窓有 EE連動範囲 ASA
100でEV8 ($\frac{1}{30}$ 秒・f2.8)～EV16.7
($\frac{1}{200}$ 秒・f22) ASA目盛25～500

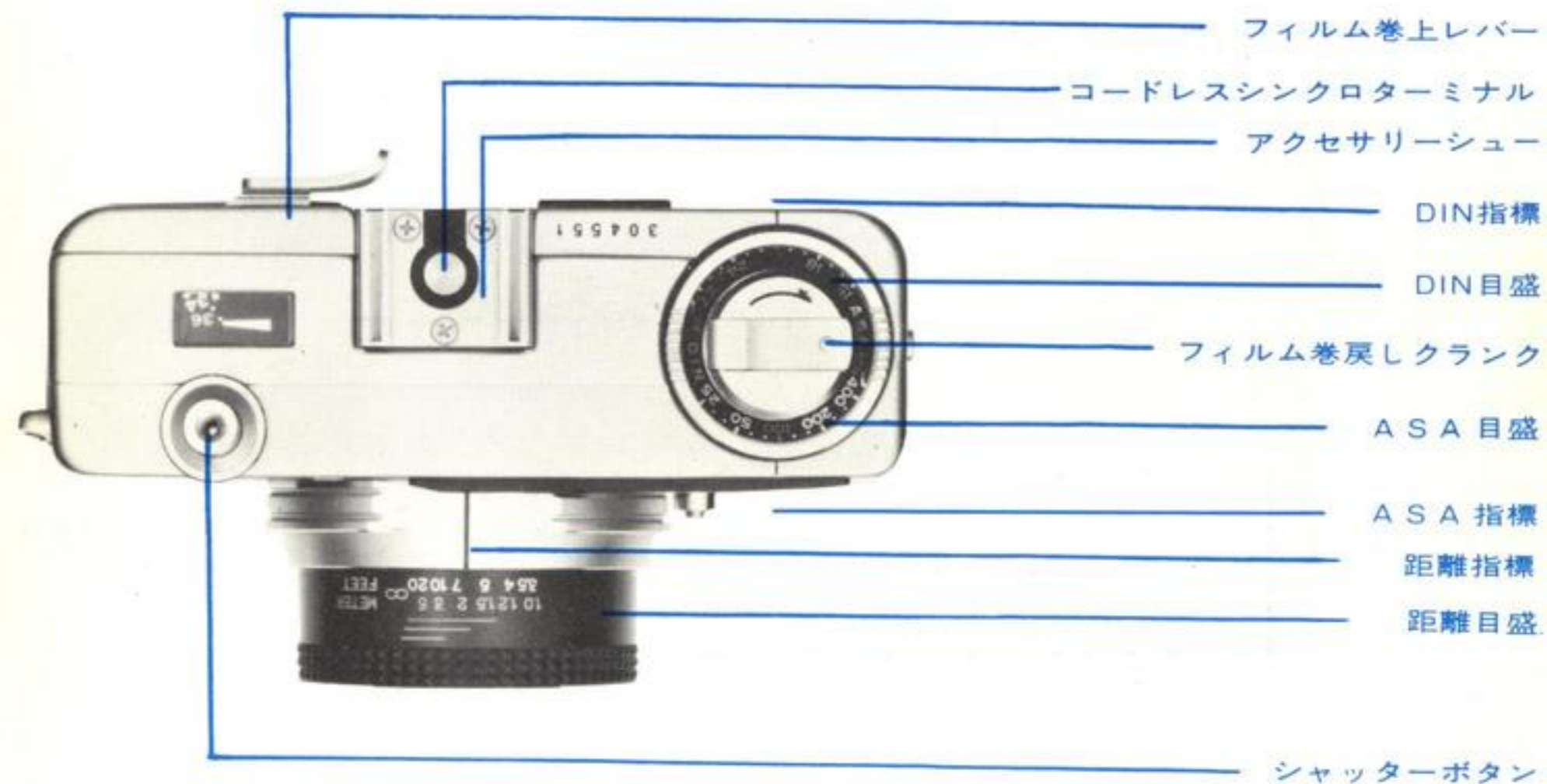
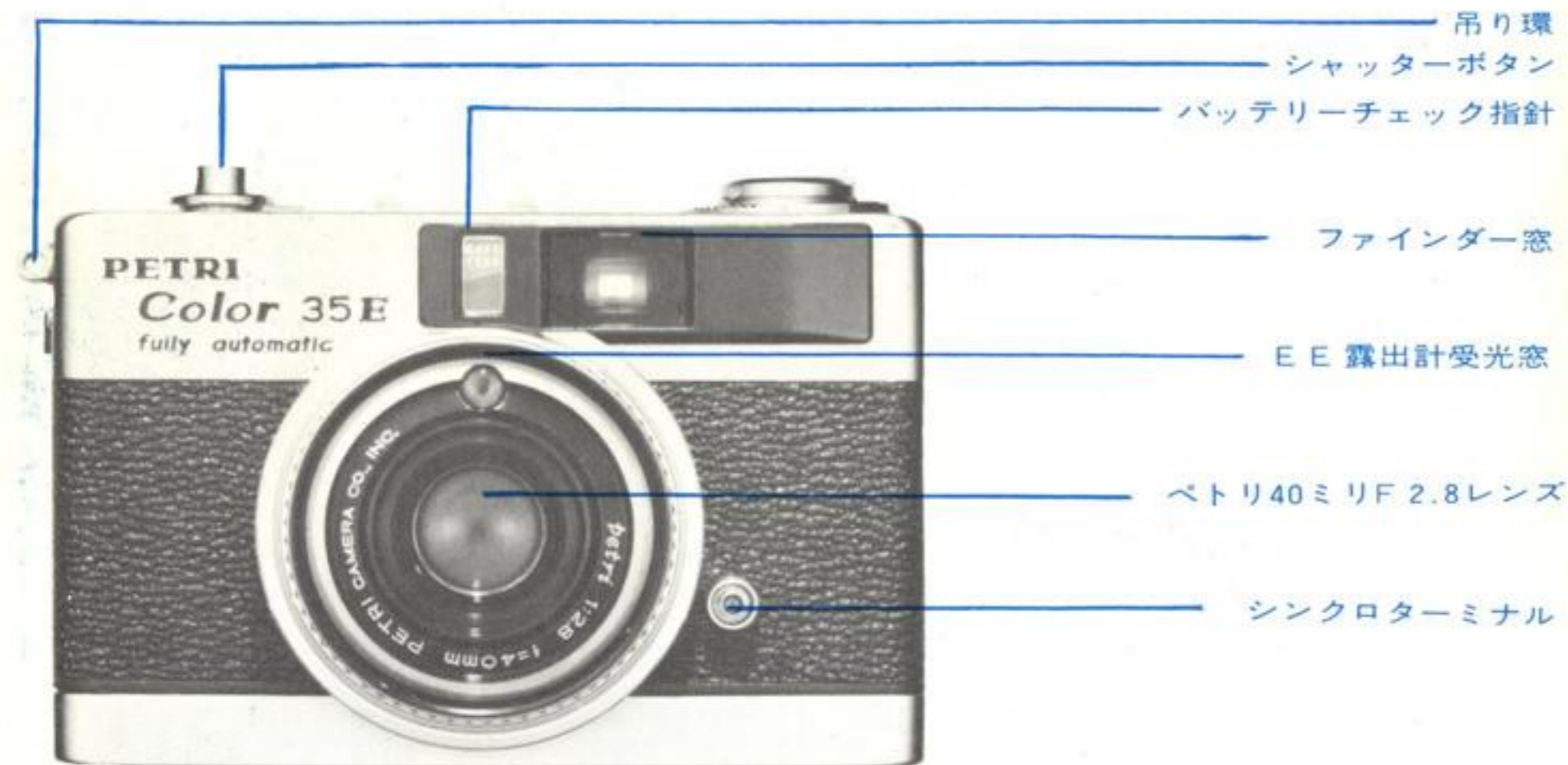
DIN目盛15～28
水銀電池／ナショナルM-1C 東芝TH-
KC マロリーRM675 各1.3V
フラッシュ／X接点(シャッター速度 $\frac{1}{30}$ 秒)
フラッシュ撮影はガイドナンバー目盛によ
るフラッシュオートマッチシステム コ
ードレス・シンクロ接点 JISB型シン
クロ接点
フィルム装てん／シンプルローディング
フィルム巻上げ／カメラ背面のレバー式一作
動巻上げ(水銀電池スイッチ兼用)
その他／自動復元順算式フィルム枚数計 バ
ッテリーチェッカー
寸法・重さ／101×64×48ミリ 390グラム

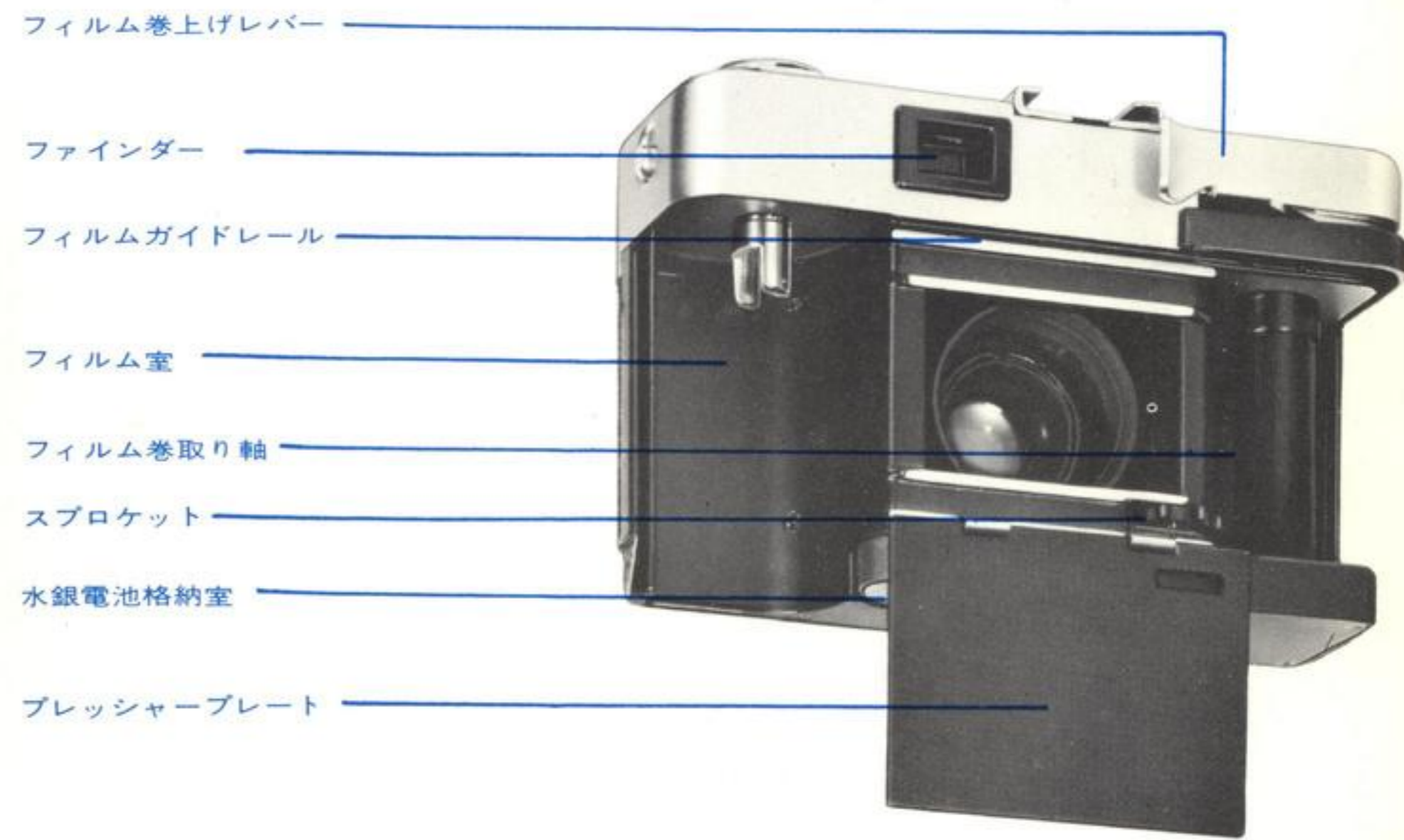
カメラ ¥ 13,600 ケース ¥ 1,200 フード ¥ 800 (ケース付)
フィルター・黑白用 ¥ 600 カラー・UV ¥ 700

お買上げありがとうございます

ペトリカラー35E 気に入っていただけま
したか。ハーフより小さく軽い世界最小の35
ミリフルサイズEEカメラ、使い方もとても
簡単です。ポケットにバックにしのばせ、気
軽にカラースナップをお楽しみください。

各部の名称

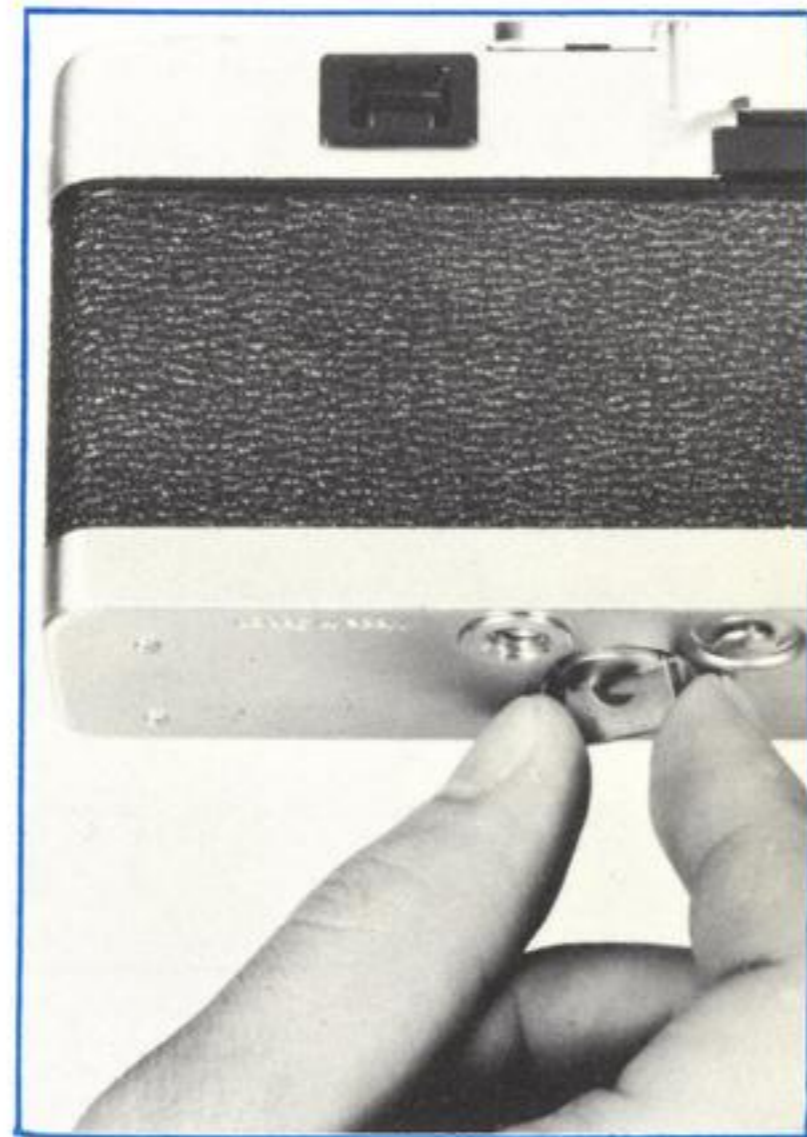




まず 裏ふたを外します

カメラ底部の裏ふた開閉キイ（各部の名称参照）を起して回し、ボディの両端を軽く押え、下方にずらすと裏ふたが外れます。

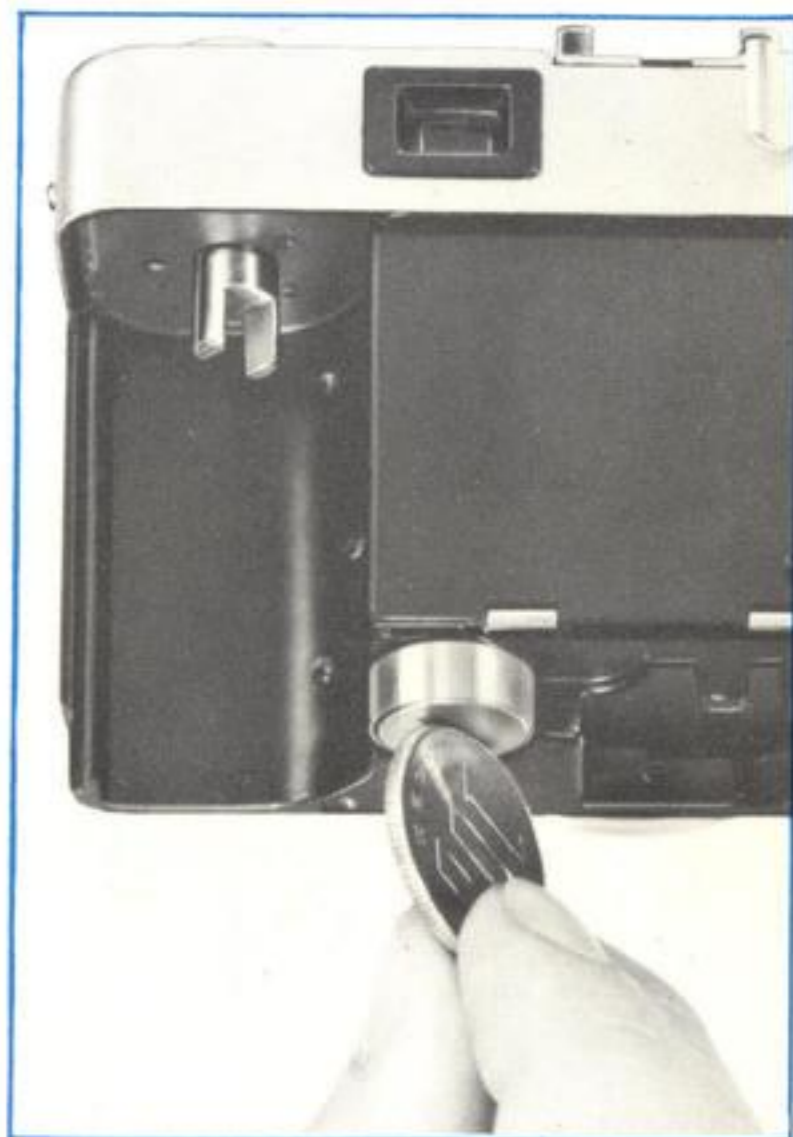
閉じる際は、ボディの端からスライドさせると閉めにくくなりますので、中間から溝に合わせスライドさせます。ボディとピッタリ合ったら開閉キイを元に戻します。



付属の水銀電池を 入れます

水銀電池はE E機構を働かせる大切な役目を持っています。

裏ふたを外し、水銀電池格納室のふたを10円硬貨などで開けます。付属の水銀電池を、ふたの裏に記されているように+・-を正しく入れてください。これが逆ですと、E Eが正しく働きません。

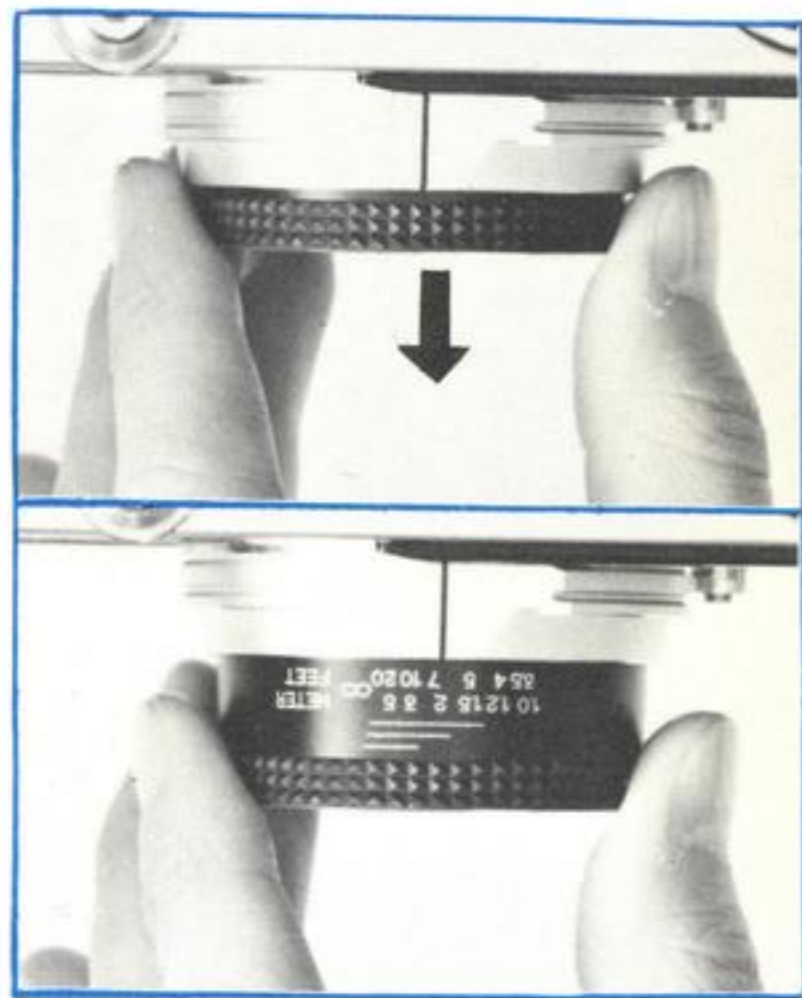


ポップアウト・システムとは…

ペトリカラー35Eは、携帯が楽なように、レンズがボディ内に格納されるようになっています。ですから、撮影のときはレンズを引き出して使います。これがポップアウト・システムです。

レンズ鏡筒先端の黒いギザギザの刻まれたリングに、写真のように指を掛け、レンズ鏡筒を押し気味にしながらかくと、パチンと音がして、レンズが撮影位置までとびだします。

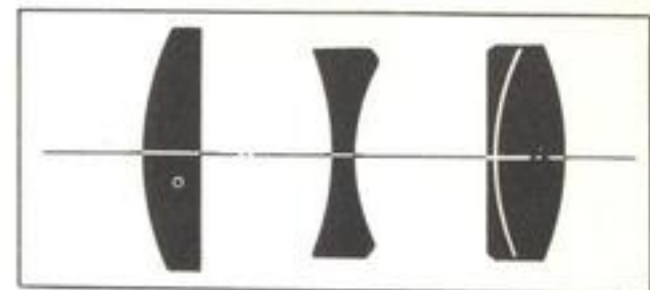
格納する場合は、ただ、レンズ鏡筒を押し込むだけで結構です。レンズが格納されているときは、ファインダーに四角い赤マークが現われ、撮影出来ないことを警告いたします。



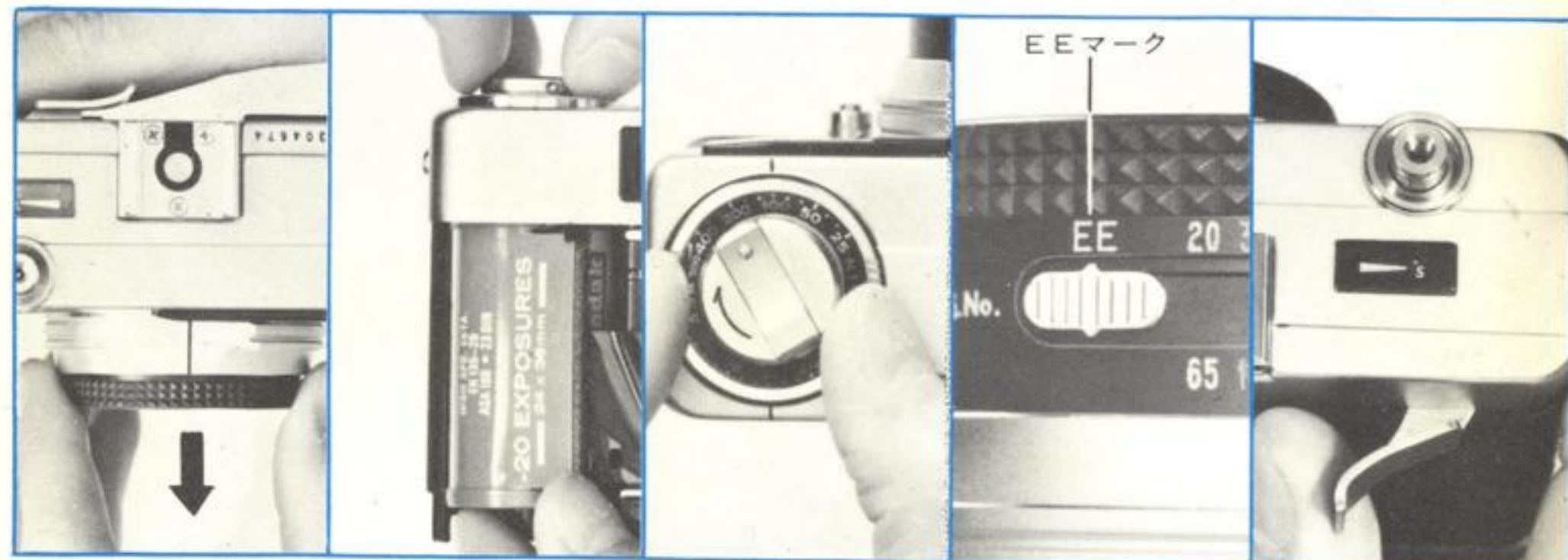
ピント調節

40ミリF2.8レンズは、被写界深度（ピントの合う巾）が深く、目測による誤差をカバーし、充分シャープな像を結びます。

レンズ・カバーに刻まれた距離指標に、目測した距離目盛を合わせます。ピント合わせに時間をとられることがなく、迅速な撮影が楽しめるわけです。



撮影の順序は……



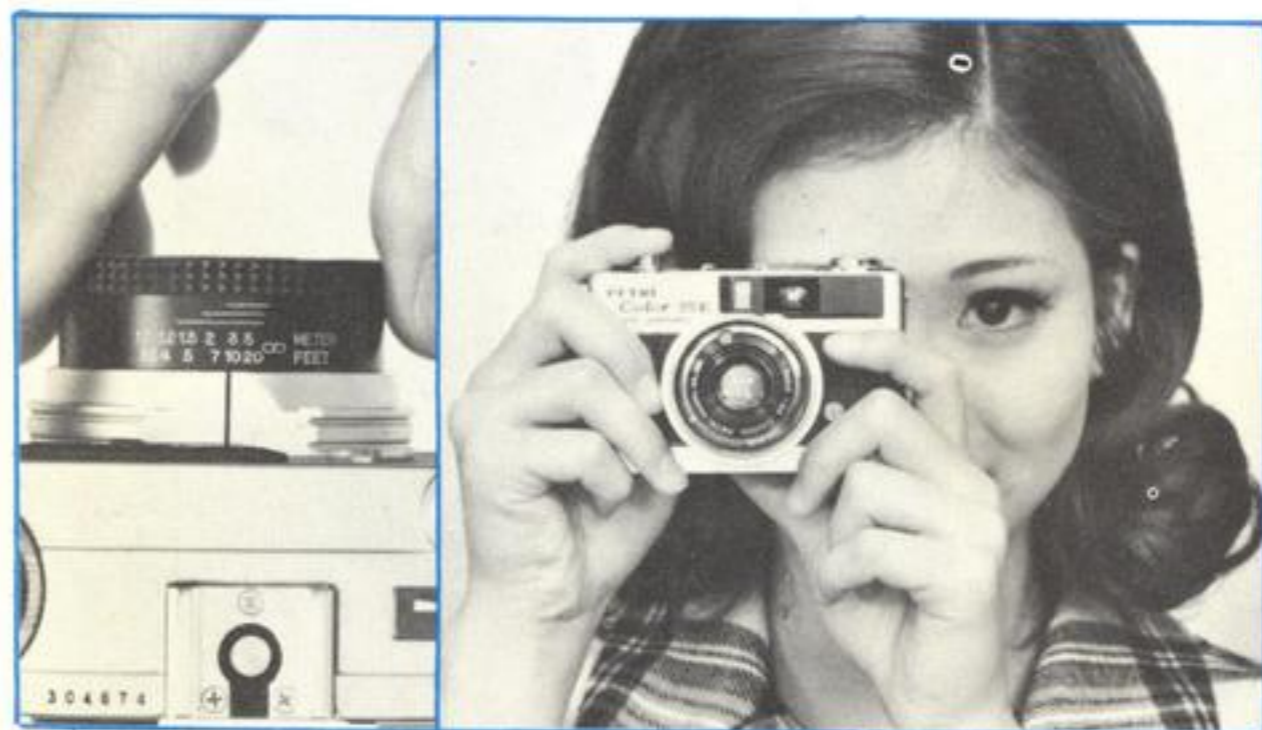
1. レンズをパチンと引き出し

2. フィルムを入れて

3. そのフィルムのASA感度とカメラのASAを同じになるように合わせたら

4. EEマークに
切替レバーをセットします

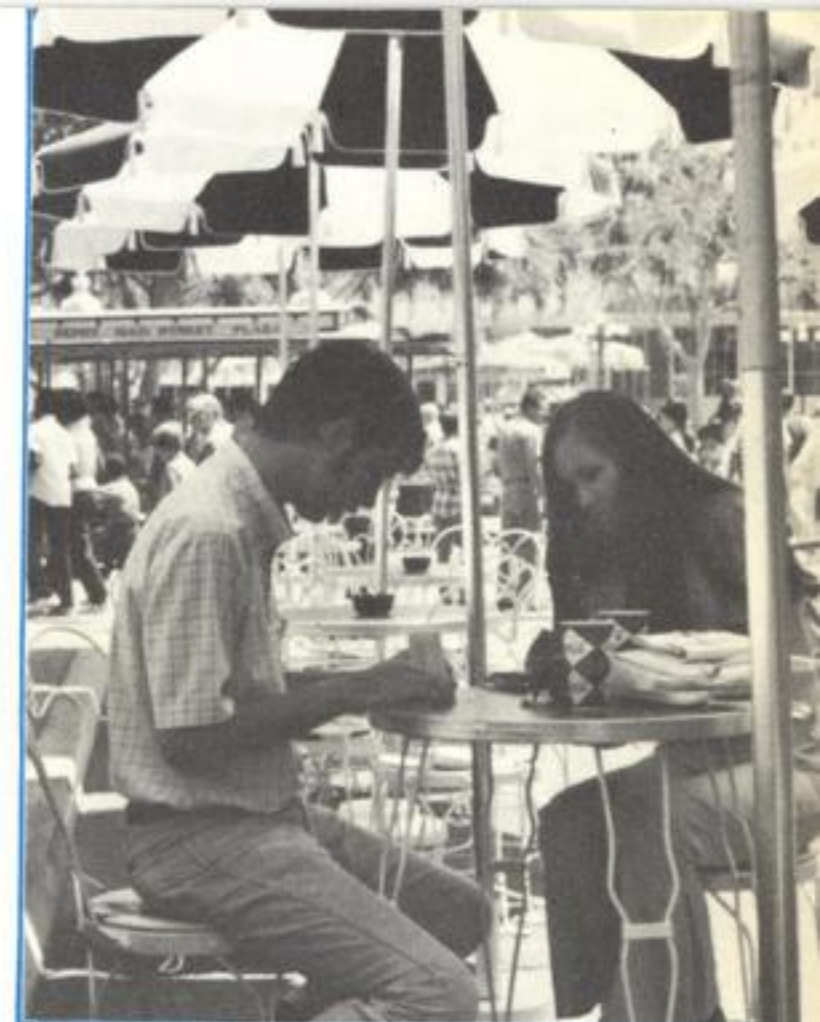
5. フィルムを巻上げカウンター窓で1を確認します。



6. 距離目盛を目測で合わせ

7. ファインダーをのぞき

8. シャッターボタンを押します



たったそれだけで、美しい写真が写せます。2枚目からは、フィルムを巻上げ、距離を合わせ、ファインダーをのぞきながら、シャッターボタンを押すだけです。

フィルム巻上げレバー

フィルム巻上げレバーに親指をかけ、レバーが止まるまで回すと

1. 水銀電池のスイッチが入り、EE機構が作動状態となり
2. フィルムが1コマ分送られ
3. フィルム枚数計も1コマ分進み
4. シャッターが同時にセットされます。

●フィルムが巻上げられていないと、EE機構、シャッターは作動しません。

フィルム枚数計の数字は、撮影枚数を表わします。目盛は1の他は偶数表示になっており、中間の黒点は奇数枚数を示します。20と36のオレンジ色数字は、20枚撮り、36枚撮りフィルムそれぞれの撮影終了を意味します。

この枚数計は自動復元式ですので、裏ぶたを外すと自動的にSに戻ります。



露出は……

ペトリカラー38Eには、絞り目盛もシャッター速度目盛もありません。あるのはEEマークとフラッシュ撮影に必要なガイドナンバー表だけです。

露出はいっさいカメラが計算します。使用フィルムのASA感度とカメラのASA目盛を合わせるだけです。シャッター速度 $\frac{1}{30}$ ～ $\frac{1}{200}$ 秒、絞りf2.8～f22の範囲の中で、その被写体に合ったいちばんいい組み合わせを見付け、自動的にセットします。

EEの作動範囲はASA100（SSフィルムやネガカラーのほとんどがこの感度）でEV8（f2.8・ $\frac{1}{30}$ 秒）か

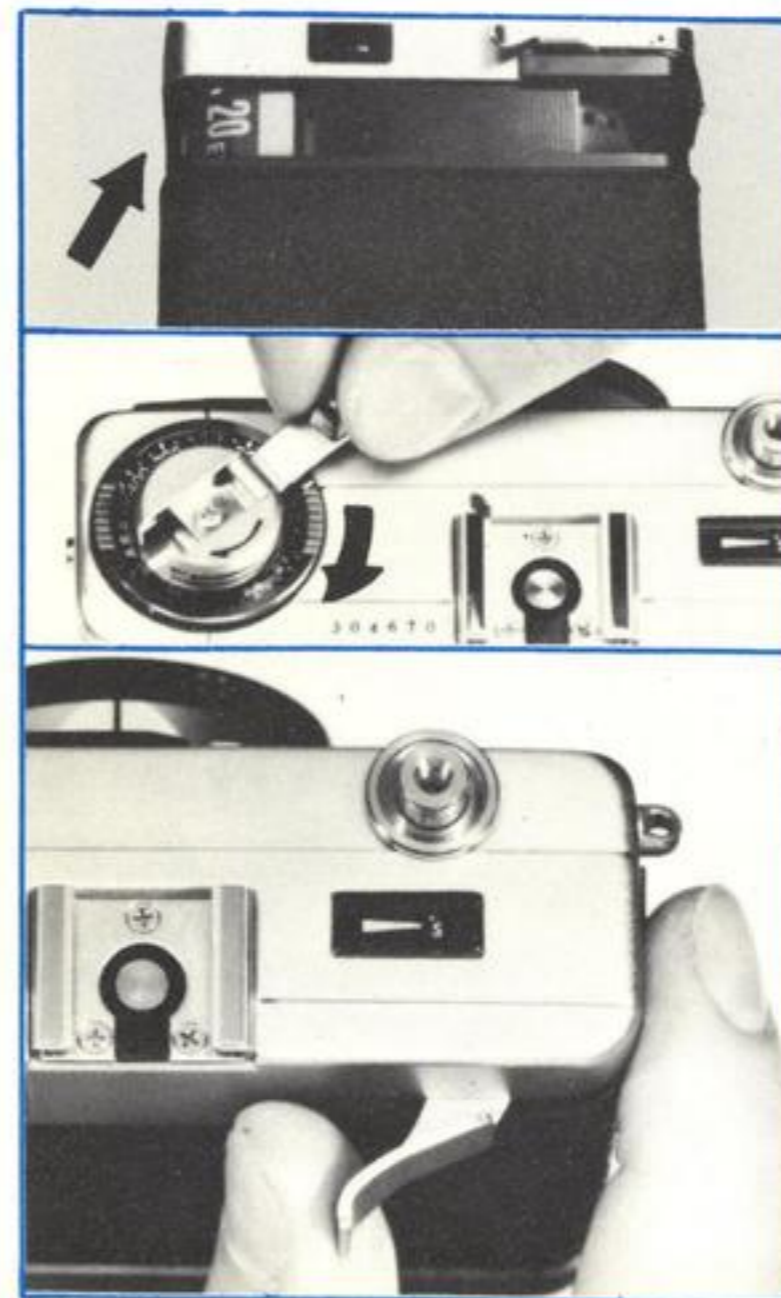
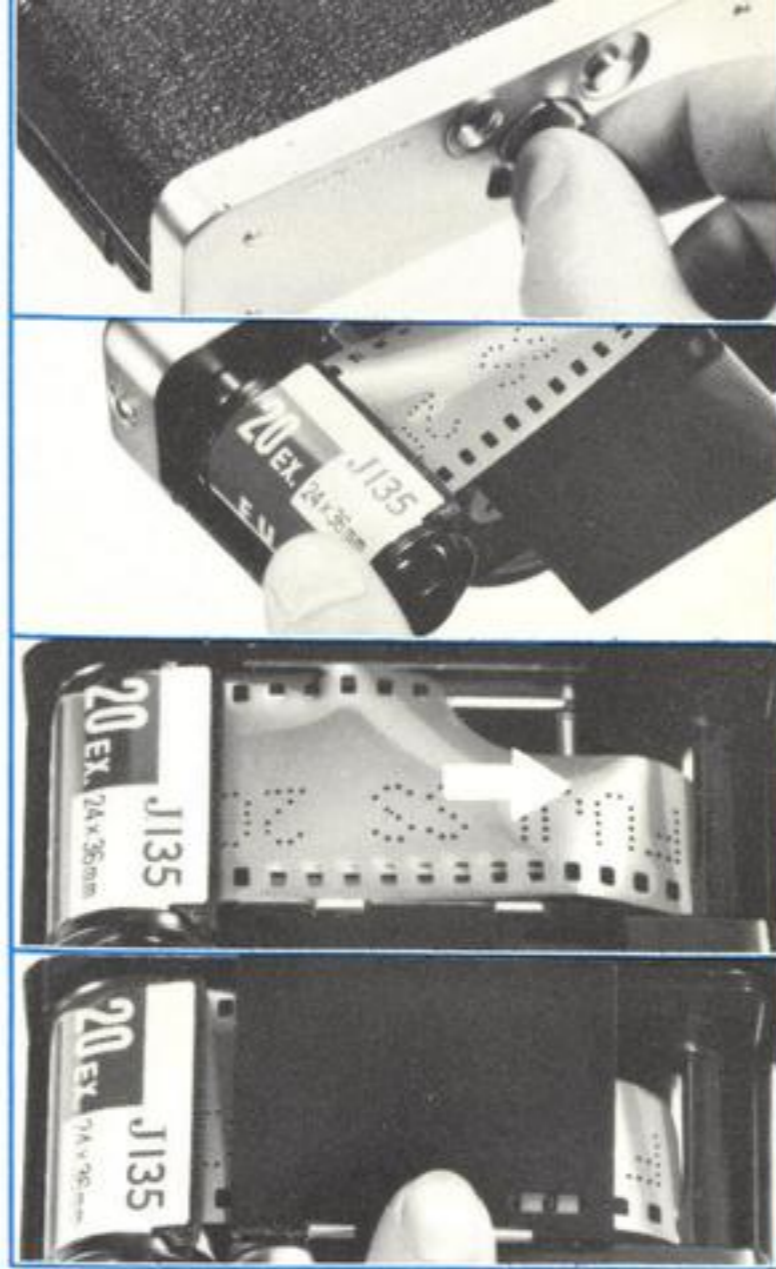
らEV16.7（f22・ $\frac{1}{200}$ 秒）です。

この範囲を越えた場合は、ファインダー内に赤マークが現われ、露出の過不足を警告します。不足の場合はフラッシュ撮影に、オーバーの場合にはNDフィルターで調節してください。なお本機はフィルターをかけてもEEは正しく働き、露出倍数を計算するわずらわしさがありません。



フィルムの入れ方

1. 裏ぶたを外し、プレッシャープレートを開きます
2. フィルムをフィルム室に入れ、
3. フィルムの先端を、フィルム巻取り軸の溝（4ヶ所あるそのどれにでも）に差しこみ、そのままカメラ底部側の溝の狭い部分に引きこみます
4. パトローネを軽く押え、フィルム巻上げレバーを巻上げ、パーフォレーション（フィルムに刻まれた穴）がスプロケットの歯車と噛み合うのを確認したら



5. プレッシャープレートを閉じ、裏ぶたを閉じます。
6. 巻戻しクランクを起し、矢印の方向に軽く回して、フィルムのタルミをとり、
7. 巻上レバーを巻上げ、シャッターを切る操作を、2回繰り返します。このとき巻戻しクランクが、矢印と反対方向に回っていたら、フィルムは正しく送られています。

フィルムの出し入れは、直射日光を避けて行ないます。

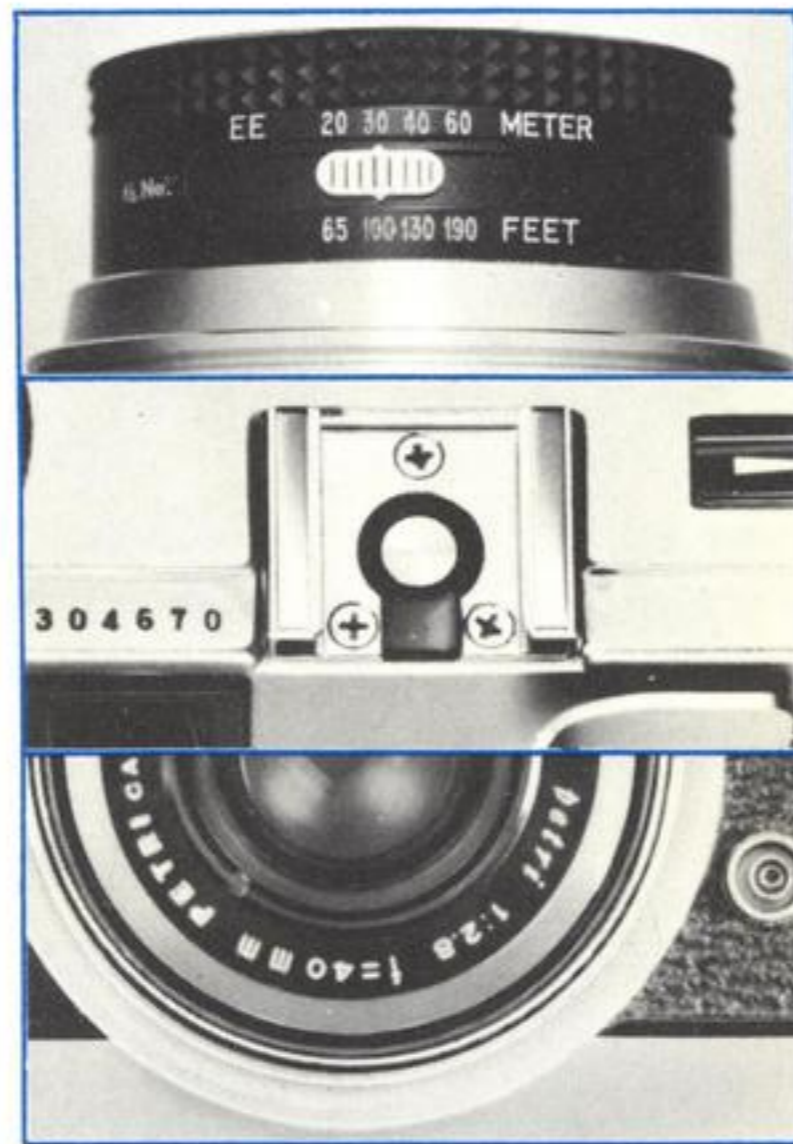
フラッシュ撮影

暗い室内や夜、撮影されるときはフラッシュをお使いください。

コードレスタイプのフラッシュガンはアクセサリシューに差しこむだけで結構です。コードはいりません。その他のガンやストロボは、ボディ前面のシンクローターミナルに、シンクロコードを接続します。

露出は使用バルブ又は使用ストロボのガイドナンバーとカメラのガイドナンバー目盛を合わせるだけです。例えば、ガイドナンバー40のバルブを使うときは、カメラのガイドナンバー目盛も40にします。ガイドナンバーが端数の場合は4捨5入してください。

また、本機のガイドナンバー目盛は、30が



グリーン、40がブルー、60が赤に色分けされています。この色分けは、距離目盛の前に同じく3本の線によって表わされています。これは、ブルー表示のガイドナンバーを持つバルブを使ったときは、ブルーの線内にある距離、すなわち2メートル以遠で撮影することが望ましいという意味です。10、20は距離目盛の全域で撮影することができます。

本機のシンクロ接点はX接点、M級、F級のバルブ及びストロボが使えます。シャッター速度は $\frac{1}{30}$ 秒一定になっています。

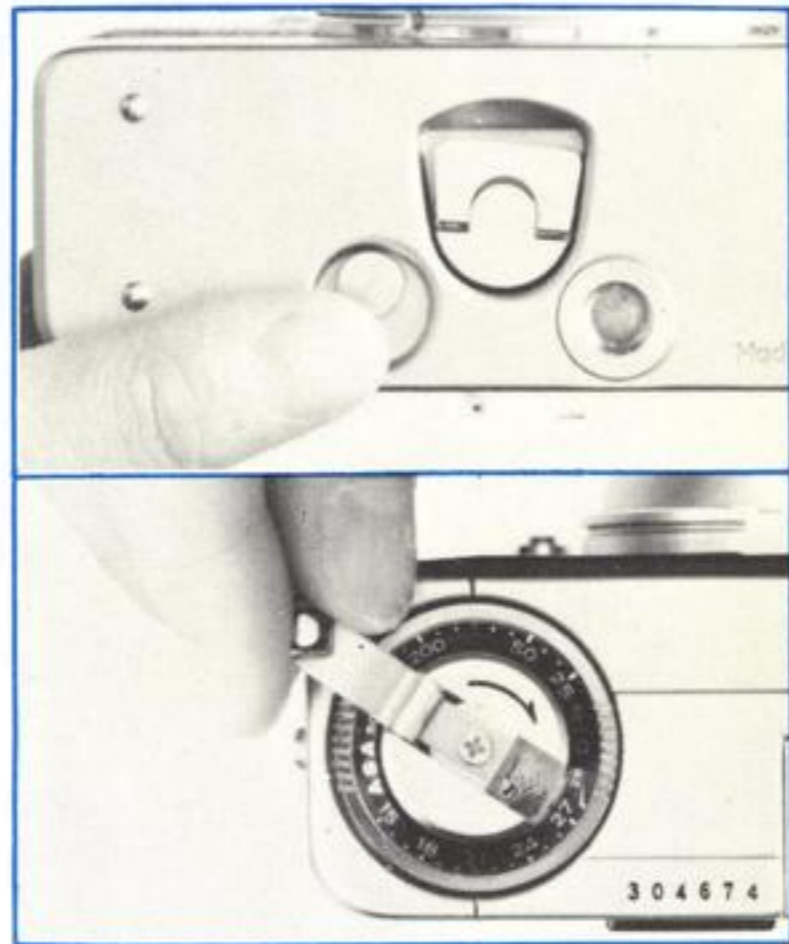


フィルムの巻戻し

撮影が終わったら、再びパトローネにフィルムを巻戻します。

カメラ底部の巻戻しボタンを押しながら、カメラ上部のフィルム巻戻しクランクを起し矢印の方向に回します。フィルムが完全に巻戻されると急に軽く感じられます。

フィルムを取出す際、裏ふたと一緒に落ちないように、カメラ上部を下に向けて裏ふたを外すようにします。また、撮影済みのフィルムは、できるだけ早く現像に出してください。



カメラの構え方

「どうもシャープに写らない」という原因を追求してみると、ほとんどがカメラ側の故障ではなく、カメラブレといわれます。正しくカメラを構え、カメラブレを起さないよう気をつけてください。

それには、カメラを写真のように両手で安定させ（この場合、手にあまり力を入れると、かえってカメラブレを起します）、カメラの背面を、顔の一部に密着させ、指の腹で静かにシャッターを押すようにします。

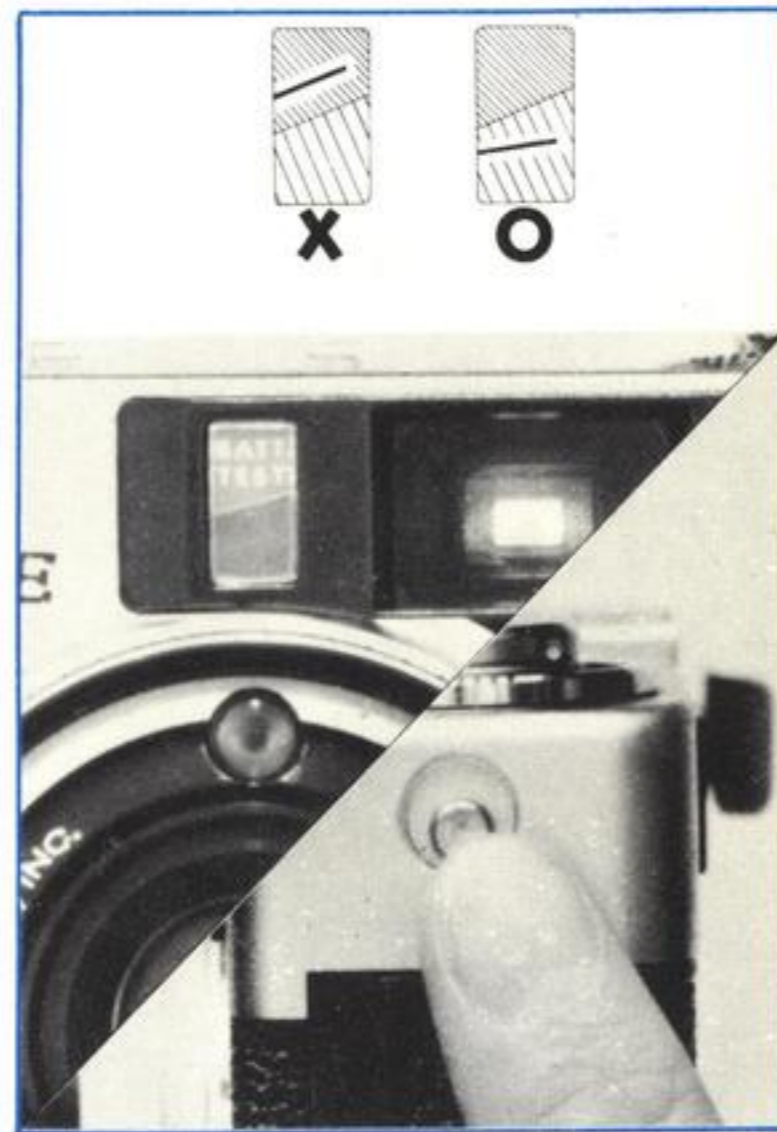


バッテリーチェッカー

EEを働かせる水銀電池は、約1年たつと性能がドロップしてきます。撮影する前にバッテリーチェッカーで、水銀電池の損耗度を確認してください。

ボディ横のバッテリーチェッカーを押したとき、ファインダー横のバッテリーチェック指針が、青の範囲内までふれれば、その電池は健在であり、赤の範囲にあるときは電池が消耗していることを示します。このテストはフィルムを巻上げる前でも後でも、どちらでもできます。

消耗が認められたときは、水銀電池CHタイプの1.3V（東芝TH-KC ナショナルM-1C マロリーRM675R）と交換してください。



アクセサリ

フード

専用カブセ式45ミリ 丸型止ネジ式
¥ 800(ケース付)



フィルター

金属枠付 ネジ込式40.5ミリ
黑白用……………¥ 600
カラー・UV……………¥ 700



カメラ番号

ペトリカメラ株式会社

本社・東京営業所	東京都足立区梅田 7-25-12	Tel. 887-1111
大阪営業所	大阪市西区北堀江上通1の50 (東海ビル)	Tel. 541-5096
名古屋営業所	名古屋市中区栄3丁目11番9号 (塩屋ビル五階)	Tel. 251-5691
福岡営業所	福岡市上川端町 14番13号	Tel. 29-0653
仙台営業所	仙台市錦町2丁目1番3号 (大興ビル)	Tel. 25-1489
札幌出張所	札幌市南七条西 10丁目	Tel. 51-0686
サービスセンター	東京都千代田区九段南 2-4-16	Tel. 261-9981